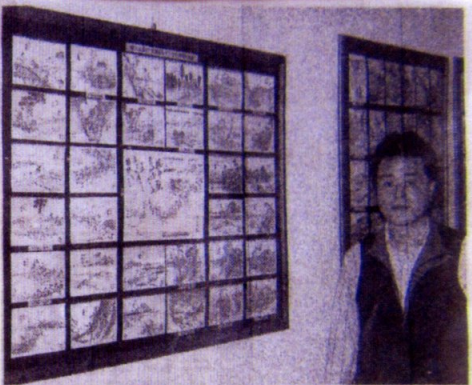


浮世絵などを 透明水彩画で

岩崎君男さん
作品展珈舎で

透明水彩画家の岩崎君男さん（大平）の個展が8月4日まで島郷のカフェ&ギャラリー珈舎で開かれている。岩崎さんは世界30カ国以上でプラントの設計施工、技術指導の仕事を長年続け、定年退職後に市主催の「夢ある人づくり塾」に参加。卒業生で組織するボランティア団体「DSPAエルト」に入会した。

言葉の通じない海外では3D立体図を手描きして説明する機会が多く、各国の世界遺産を訪ねてはスケッチを楽しんでいくことから細密画が得意で、2016年にDSPAエルト内で始まった絵手紙教室の講師に就任した。現在は、企業から設計企画の仕事を受け負う傍ら、福祉施設や地元大平で絵画教室を開



浮世絵を模写した透明水彩画を展示する岩崎さん＝島郷の珈舎で

き、いずれもボランティアで透明水彩画を指導。

これまで、訪れた世界各国の世界遺産を描くことが中心だったが、3年前から江戸時代の浮世絵師、歌川広重による「六十余州名所図会」と「東海道五十三次」の「空気遠近法に似た技法が好き」だとして、透明水彩画による模写を始めた。はがきサイズで細密に描いたもので、オリ

シナルの案内図も含めて合計125枚に及び、「1枚描くのじ5時間かかり、最近、ようやく完成したばかり」で、六十余州名所図会を40号サイズの額2枚に、東海道五十三次は1枚に収めた。



「625時間をかけて完成させた力作で、市民が訪れる公共施設で展示してもらえ場所があれば寄贈したい」という。

また、ポルトガルのペーナ宮殿、ウィットーリオ・エマヌエール2世のガッレリアなど世界遺産を描いた作品や、小江戸川越のまち並みとシンボルの「時の鐘」を1点透視法で描いた作品なども展示している。

開場時間は午前9時から午後7時。火曜定休。

問い合わせは珈舎（電話933-2171）。